

## 「いじめの問題への対応状況の調査」結果（11月末現在）

令和3年（2021年）1月  
北海道教育委員会

## ◆ 調査の概要

## 1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

## 2 調査対象校 《計1,598校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校803校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校479校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校250校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校66校

## 3 調査対象期間

令和2年（2020年）4月～令和2年（2020年）11月

## ◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和2年度 第2回 （4月～11月）	11,780	5,628（47.8%）	6,085（51.7%）	58（0.5%）	9（0.1%）
小学校	9,336	4,473（47.9%）	4,831（51.7%）	29（0.3%）	3（0.03%）
中学校	1,865	905（48.5%）	949（50.9%）	10（0.5%）	1（0.1%）
高等学校	536	236（44.0%）	278（51.9%）	17（3.2%）	5（0.9%）
特別支援	43	14（32.6%）	27（62.8%）	2（4.7%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合

## ◆ 前年度同期の調査結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和元年度 第3回 （4月～11月）	13,178	6,986（53.0%）	6,116（46.4%）	61（0.5%）	15（0.1%）
小学校	10,284	5,490（53.4%）	4,753（46.2%）	34（0.3%）	7（0.1%）
中学校	2,116	1,115（52.7%）	981（46.4%）	18（0.9%）	2（0.1%）
高等学校	720	352（48.9%）	354（49.2%）	8（1.1%）	6（0.8%）
特別支援	58	29（50.0%）	28（48.3%）	1（1.7%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合